

平成29年度
大分市民意識調査
調査結果の概要



企画部 企画課 行政改革推進室

平成30年3月

平成29年度大分市民意識調査

総合計画に掲げる42の施策と19の具体的な政策について意識調査を実施

本調査では、市政に対する市民のみなさまの率直なご意見をお聴かせいただき、今後の大分市のよりよいまちづくりの参考資料として活用することを目的に、42の施策について、それぞれの取組がどのくらい重要だと思うか、また、現在その取組に満足しているかをうかがいました。さらに、19の具体的な政策については、特に力を入れて取り組んでもらいたい項目を選んでいただきました。



総合計画に掲げる大分市への居住意向や個別事業について

その他に、大分市全体について「今後も大分市にずっと住みたいですか」や大分市が行っている業務や個別の事業について、今後のまちづくりの参考にするためにうかがいました。

総合計画とは

大分市のまちづくりを総合的かつ計画的に進めるため、市政運営の基本指針として定める計画です。大分市には様々な行政計画がありますが、総合計画は最上位計画であり、大分市の行政運営は全て総合計画に沿って進められます。

総合計画の構成



総合計画は、「基本構想」「基本計画」によって構成されます。

●基本構想
本市のまちづくりの最も基本的な指針として、これから本市がめざすまちの姿（都市像）と、それを実現するために行う必要がある対策（基本的な政策）を定めるものです。

●基本計画
基本構想を実現するための具体的な政策・施策の関係を体系的に示すとともに、個別の施策項目の内容を明らかにするものです。

また、計画推進の基本姿勢として、「市民主体のまちづくり」など6項目を掲げ、各種施策の推進に取り組むこととしています。

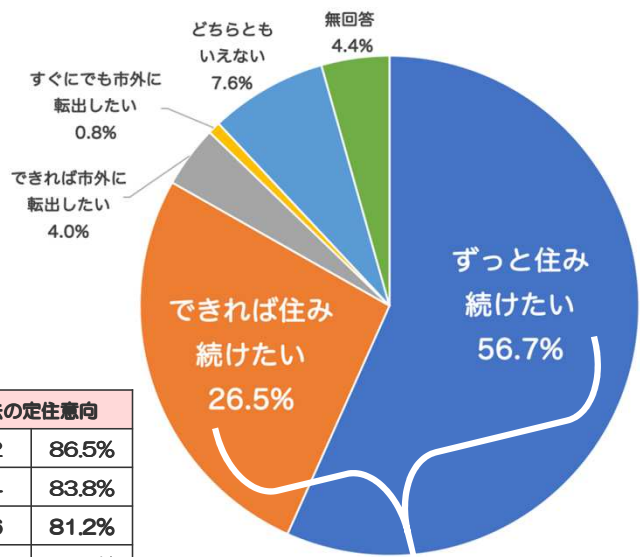
今後も大分市にずっと住み続けたいですか？

●大分市への定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(56.7%)が最も多く、「できれば住み続けたい」(26.5%)と合わせた定住意向は83.2%となっており、同様の調査を開始した平成22年度以来、大分市への定住意向は8割を超えています。

●一方、「できれば市外に転出したい」(4.0%)、「すぐにでも市外に転出したい」(0.8%)を合わせた転出意向は4.8%で、平成22年度以降5%未満が続いています。

●性別でみると、男性の定住意向が87.1%で、女性の82.1%を上回っています。

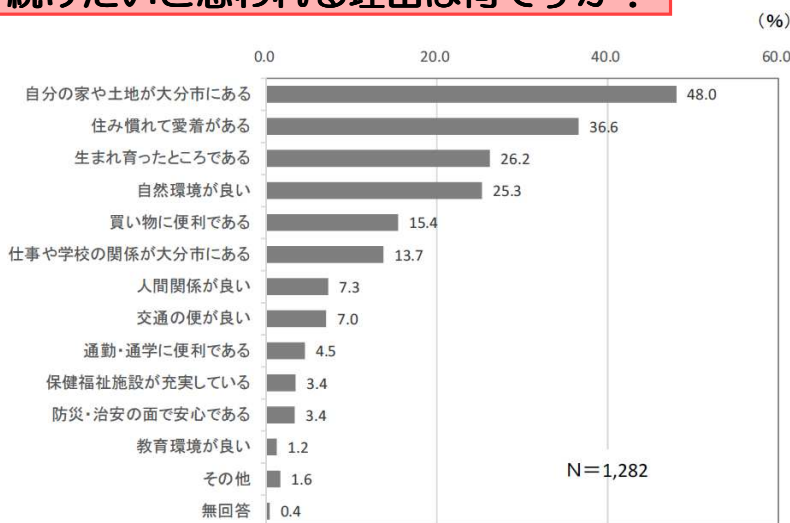
●年齢別にみると、年代が高くなるにつれて定住意向が高まる傾向になっており、60歳代、70歳以上は9割以上の定住意向となっています。一方、20歳代は63.6%と最も低く、30歳代は75.3%、40歳代は79.8%と8割に達していません。



過去の定住意向	
H22	86.5%
H24	83.8%
H26	81.2%
H28	84.9%

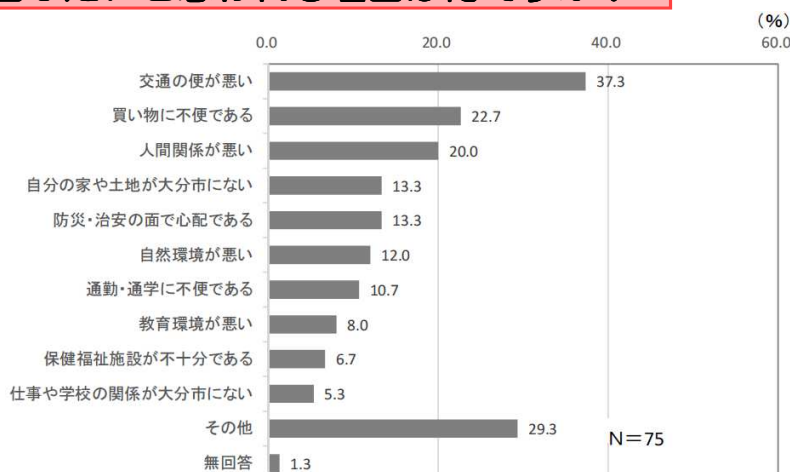
定住意向のある人は **83.2%**

住み続けたいと思われる理由は何ですか？



●大分市に、「ずっと住み続けたい」または「できれば住み続けたい」と回答した83.2% (1,282人)にその理由を聞いたところ、「自分の家や土地が大分市にある」(48.0%)が最も多く、次いで「住み慣れて愛着がある」(36.6%)、「生まれ育ったところである」(26.2%)、「自然環境が良い」(25.3%)の順となっています。

転出したいと思われる理由は何ですか？



●「できれば市外に転出したい」または、「すぐにでも市外に転出したい」と回答した4.8% (75人)にその理由を聞いたところ、「交通の便が悪い」(37.3%)が最も多く、次いで「買い物に不便である」(22.7%)、「人間関係が悪い」(20.0%)の順となっています。

●その他の理由としては、「大分市外に実家があるため」「就職先に県外を検討している」などの意見がありました。

1 市民福祉の向上

(健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり)

市民一人ひとりが、人権を尊重し、互いに認め合い、だれもが住み慣れた地域で生きがいを持って、健やかでいきいきと安心して暮らしていける地域社会をつくります。

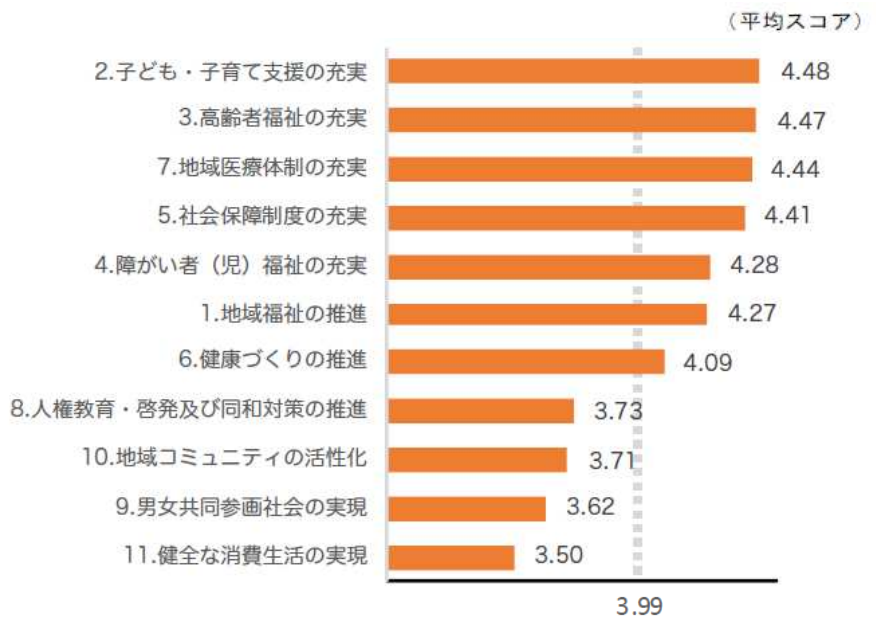
また、安心して子どもを産み育てることができる環境を整え、社会全体で子どもの健やかな成長を支えるまちづくりを進めます。

重要度

「2.子ども・子育て支援の充実」「3.高齢者福祉の充実」など、7つの施策が全体平均を上回っています。

●「子ども・子育て支援の充実」「高齢者福祉の充実」「社会保障制度の充実」「地域医療体制の充実」が全施策の重要度の中で高くなっています。

●年齢別でみると、20歳代(4.57)、30歳代(4.67)で、「子ども・子育て支援の充実」が全施策の重要度の中で第1位となっています。また、「高齢者福祉の充実」は50歳代(4.54)、70歳以上(4.58)で第1位、60歳代(4.53)で第2位となっており、全施策の中でも重要度が高くなっています。



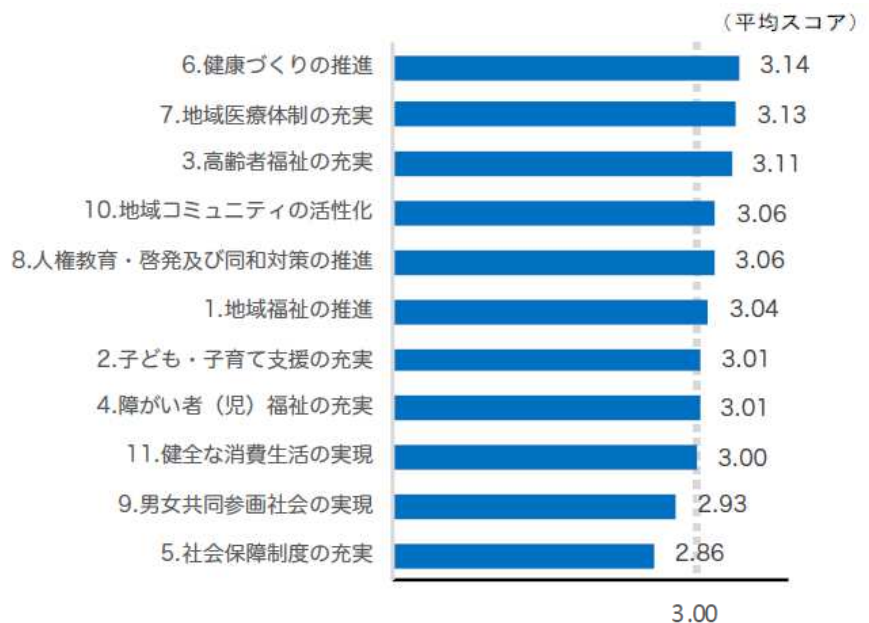
満足度

「6.健康づくりの推進」「7.地域医療体制の充実」など、8つの施策が全体平均を上回っています。

●「健康づくりの推進」「地域医療体制の充実」が全施策の満足度の中で第5位、第6位となっています。また、「高齢者福祉の充実」は第8位となっています。

●性別でみると、男性では「健康づくりの推進」(3.12)が全施策の満足度の中で第2位、「地域医療体制の充実」(3.11)が第3位と高くなっています。

●年齢別でみると、60歳代(3.21)、70歳以上(3.42)で「高齢者福祉の充実」がともに全施策の満足度の中で第2位と高くなっています。



2 教育・文化の振興

(豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり)

未来を担う子どもたちの豊かな人間性や社会性をはぐくむとともに、個性を尊重し、創造性を伸ばすことによって、一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、変化の激しい社会をたくましく生きる力をはぐくみます。

また、生涯にわたって主体的に学び、文化・芸術やスポーツに親しむなど、だれもが潤いや生きる喜びを実感でき、ふるさとに誇りを持てるまちづくりを進めます。

重要度

「13.子どもたちの学びを支える教育環境の充実」「12.生きる力をはぐくむ学校教育の充実」が全体平均を上回っています。

● 「子どもたちの学びを支える教育環境の充実」「生きる力をはぐくむ学校教育の充実」が全施策の重要度の中で第10位、第13位となっています。

● 年齢別でみると、20歳代(4.22)、30歳代(4.34)で、「子どもたちの学びを支える教育環境の充実」が全施策の重要度の中で第7位、第9位と高くなっています。



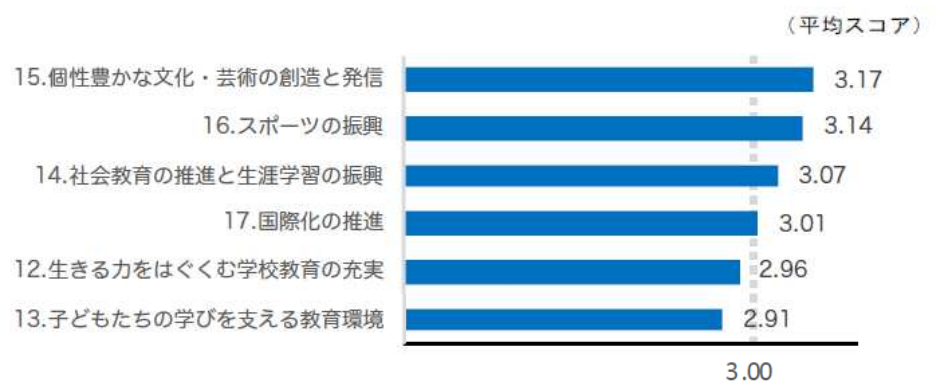
満足度

「15.個性豊かな文化・芸術の創造と発信」「16.スポーツの振興」など4つの施策が全体平均を上回っています。

● 「個性豊かな文化・芸術の創造と発信」「スポーツの振興」が全施策の満足度の中で第2位、第4位と高くなっています。

● 性別でみると、女性では「個性豊かな文化・芸術の創造と発信」(3.23)が全施策の中で第2位、「スポーツの振興」(3.17)が第5位となっています。

● 年齢別でみると、全ての年代で「個性豊かな文化・芸術の創造と発信」「スポーツの振興」の満足度が全施策の中で高い傾向になっています。



3 防災安全の確保

(安全・安心を身近に実感できるまちづくり)

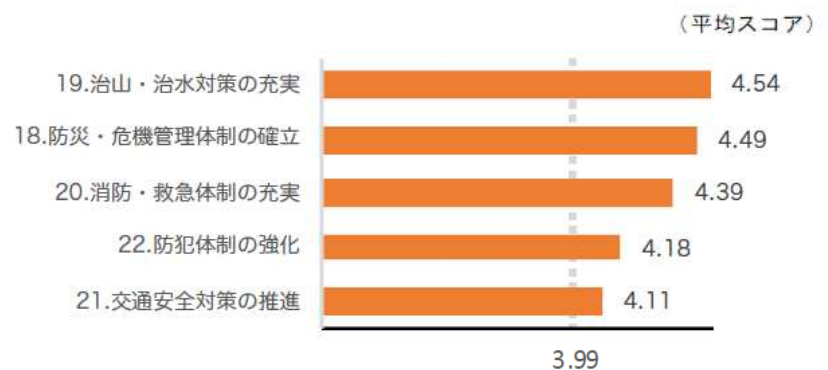
地震や津波、台風などの自然災害はもとより、テロや武力攻撃事態、さらには交通事故や犯罪など、日常生活を脅かすあらゆる危機事象を想定し、市民、地域、行政及び関係機関がそれぞれの役割分担（自助・共助・公助）のもとに連携・協働して、被害を未然に防止し、または最小限に抑えることができるよう対策を着実に推進し、安全・安心を身近に実感できるまちづくりを進めます。

重要度

「19.治山・治水対策の充実」「18.防災・危機管理体制の確立」など全ての施策が全体平均を上回っています。

●「治山・治水対策の充実」「防災・危機管理体制の確立」が全施策の重要度の中で第1位、第2位と高くなっています。

●年齢別でみると、全ての年代で「防災・危機管理体制の確立」「治山・治水対策の充実」「消防・救急体制の充実」が全施策の重要度の中で第10位以内に入っており、市民の関心の高さがうかがえます。



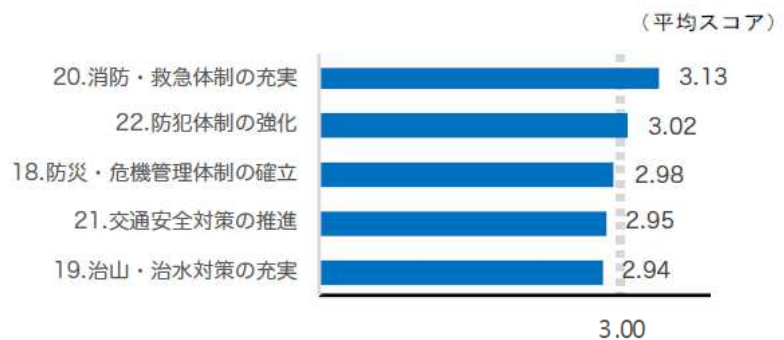
満足度

「20.消防・救急体制の充実」「22.防犯体制の強化」が全体平均を上回っています。

●「消防・救急体制の充実」は全施策の満足度の中で第7位と高くなっています。

●性別でみると、女性では「消防・救急体制の充実」(3.18)が全施策の満足度の中で第4位と高くなっています。

●年齢別でみると、70歳以上(3.36)で「消防・救急体制の充実」が全施策の満足度の中で第5位、40歳代(3.05)、50歳代(3.09)で第6位、60歳代(3.13)で第7位となっており、高い年齢層で満足度が高くなっています。



4 産業の振興

(にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり)

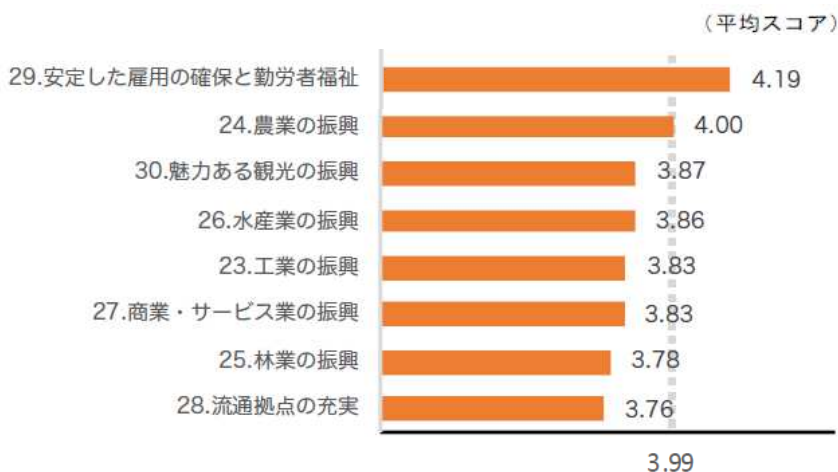
経済を活性化し、企業の経営基盤の強化、農林水産物や工業製品をはじめとする製品の供給体制の充実など、地域の発展を支える各種産業の機能強化を図ります。

また、関係機関との連携を強化し、住む人や訪れる人たちにとっての新たな魅力を創出することでにぎわいと活力に満ちた豊かなまちづくりを進めます。

重要度

「29.安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実」「24.農業の振興」が全体平均を上回っています。

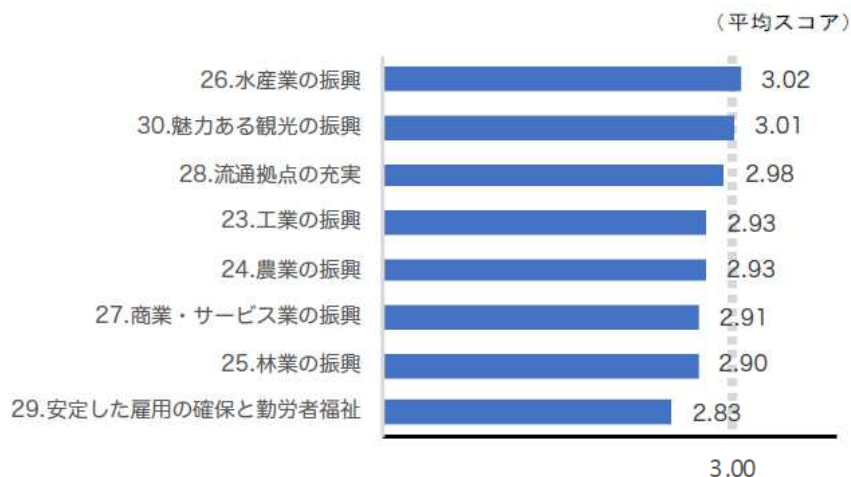
- 「産業の振興」の8施策の中で平均スコアの最も高い「安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実」が全施策の重要度の中で、第11位となっています。
- 年齢別で見ると、18.19歳(4.42)で、「魅力ある観光の振興」が全施策の重要度の中で第5位となっています。また、20歳代(4.18)、40歳代(4.21)、50歳代(4.25)で、「安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実」が第9位、第8位、第9位となっています。



満足度

「26.水産業の振興」「30.魅力ある観光の振興」がわずかに全体平均を上回っています。

- 年齢別で見ると、20歳代(3.17)で、「農業の振興」が全施策の満足度の中で第3位と高くなっています。また、30歳代(3.05)で、「水産業の振興」が第5位と高くなっています。
- 前回調査(H28年度)と比べると、「水産業の振興」「魅力ある観光の振興」「工業の振興」「農業の振興」は全施策の中で満足度の順位が上昇しています。



5 都市基盤の形成

(にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり)

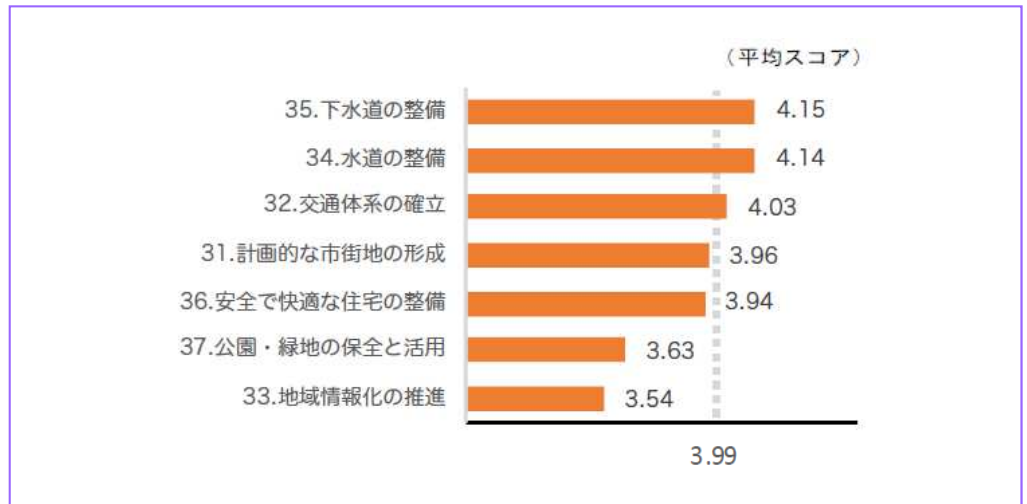
潤いや美しさ、豊かさなどで満たされるバランスのとれた都市の創造を目指して、各地域の現況や特性を生かした生活サービス機能の充実と集約により、コンパクトで暮らしやすいまちづくりを進めます。

また、日常生活での快適性・利便性の向上を図り、将来にわたって住み慣れた地域で安心して暮らせる持続可能な魅力あるまちづくりを進めます。

重要度

「35.下水道の整備」「34.水道の整備」「32.交通体系の確立」の3つの施策が全体平均を上回っています。

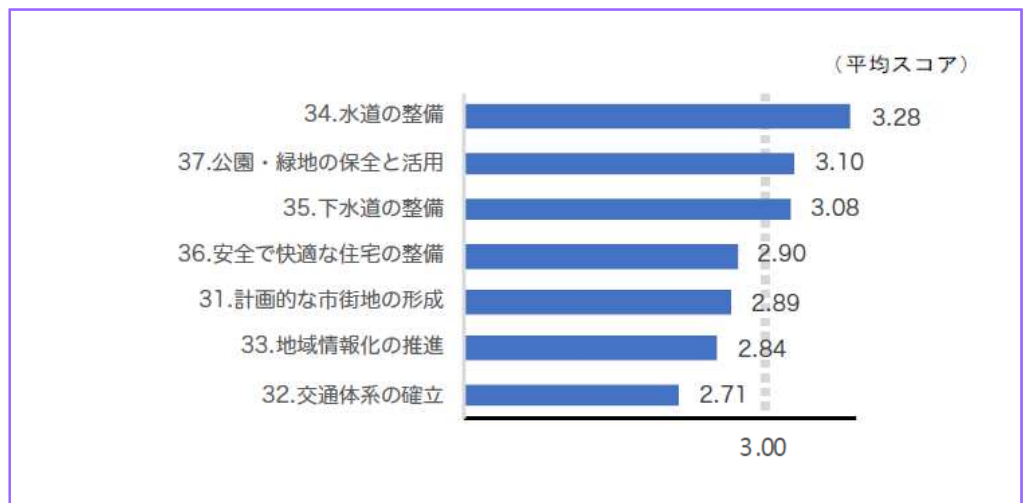
- 「下水道の整備」「水道の整備」が全施策の重要度の中で第14位、第15位となっています。
- 前回調査(H28年度)と比べると、「水道の整備」「交通体系の確立」「安全で快適な住宅の整備」は全施策の中で重要度の順位が上昇しています。



満足度

「34.水道の整備」「37.公園・緑地の保全と活用」「35.下水道の整備」の3つの施策が全体平均を上回っています。

- 「水道の整備」が全施策の満足度の中で第1位と高くなっています。
- 年齢別でみると、20歳代(3.18)で「公園・緑地の保全と活用」が全施策の満足度の中で第2位と高くなっています。また、20歳代(3.11)、70歳以上(3.33)で、「下水道の整備」がともに第7位と高くなっています。



6 環境の保全

(自然と共生する潤い豊かなまちづくり)

清潔で安全に暮らせる快適な生活環境を構築するため、市民、事業者、行政が連携して、環境に優しい循環型社会を形成するとともに、地球的規模の環境問題に取り組みます。

また、豊かな自然を守りながら、魅力あふれる環境を次世代に引き継ぐため、生物や自然に対する理解を深め、人と自然が共生する潤い豊かな都市を目指します。

重要度

「39.廃棄物の適正処理」「41.公害の未然防止と環境保全」が全体平均を上回っています。

- 「廃棄物の適正処理」が全施策の重要度の中で第16位となっています。
- 年齢別でみると、20歳代で、「公害の未然防止と環境保全」が全施策の重要度の中で第12位となっています。
- 前回調査(H28年度)と比べると、「廃棄物の適正処理」「豊かな自然の保全と緑の創造」は全施策の中で重要度の順位が上昇しています。



満足度

「39.廃棄物の適正処理」「38.豊かな自然の保全と緑の創造」など3つの施策が全体平均を上回っています。

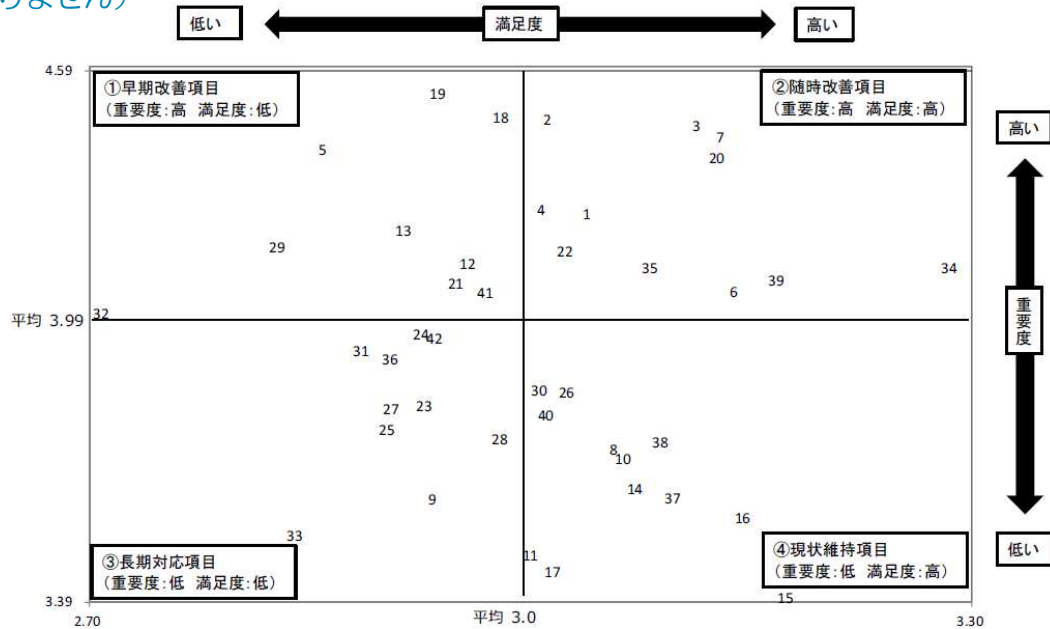
- 「廃棄物の適正処理」が全施策の満足度の中で第3位と高くなっています。
- 性別でみると、女性では「豊かな自然の保全と緑の創造」(3.15)が全施策の満足度の中で第7位と高くなっています。
- 年齢別でみると、40歳代(3.17)、50歳代(3.11)、30歳代(3.06)、20歳代(3.12)で、「豊かな自然の保全と緑の創造」が全施策の満足度の中でそれぞれ第1位、第2位、第3位、第4位と高くなっています。



重要度と満足度の相関図

重要度を縦軸に、満足度を横軸にとって、各施策の位置を表したのが次の散布図です。縦横の平行線で区切られた領域にある施策は、大まかに図中の様に『①早期改善項目』『②随時改善項目』『③長期対応項目』『④現状維持項目』の分類となっています。

(なお、①～④の分類は、施策全体の重要度および満足度の平均線で分類した相対的なものであり、平行線に近くなるほど、隣接する領域の要素も含まれてくることになるため、今後の施策の方向性を明確に分類するものではありません)



①早期改善項目 (優先して改革、改善すべき施策)	
5	社会保障制度の充実
12	生きる力をはぐくむ学校教育の充実
13	子どもたちの学びを支える教育環境の充実
18	防災・危機管理体制の確立
19	治山・治水対策の充実
21	交通安全対策の推進
29	安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実
32	交通体系の確立
41	公害の未然防止と環境保全

②随時改善項目 (現在の推進を維持、向上すべき施策)	
1	地域福祉の推進
2	子ども・子育て支援の充実
3	高齢者福祉の充実
4	障がい者(児)福祉の充実
6	健康づくりの推進
7	地域医療体制の充実
20	消防・救急体制の充実
22	防犯体制の強化
34	水道の整備
35	下水道の整備
39	廃棄物の適正処理

③長期対応項目 (あり方、方向性を検討すべき施策)	
9	男女共同参画社会の実現
23	工業の振興
24	農業の振興
25	林業の振興
27	商業・サービス業の振興
28	流通拠点の充実
31	計画的な市街地の形成
33	地域情報化の推進
36	安全で快適な住宅の整備
42	地球環境問題への取組

④現状維持項目 (現在の水準を維持すべき施策)	
8	人権教育・啓発及び同和対策の推進
10	地域コミュニティの活性化
11	健全な消費生活の実現
14	社会教育の推進と生涯学習の振興
15	個性豊かな文化・芸術の創造と発信
16	スポーツの振興
17	国際化の推進
26	水産業の振興
30	魅力ある観光の振興
37	公園・緑地の保全と活用
38	豊かな自然の保全と緑の創造
40	清潔で安全な生活環境の確立

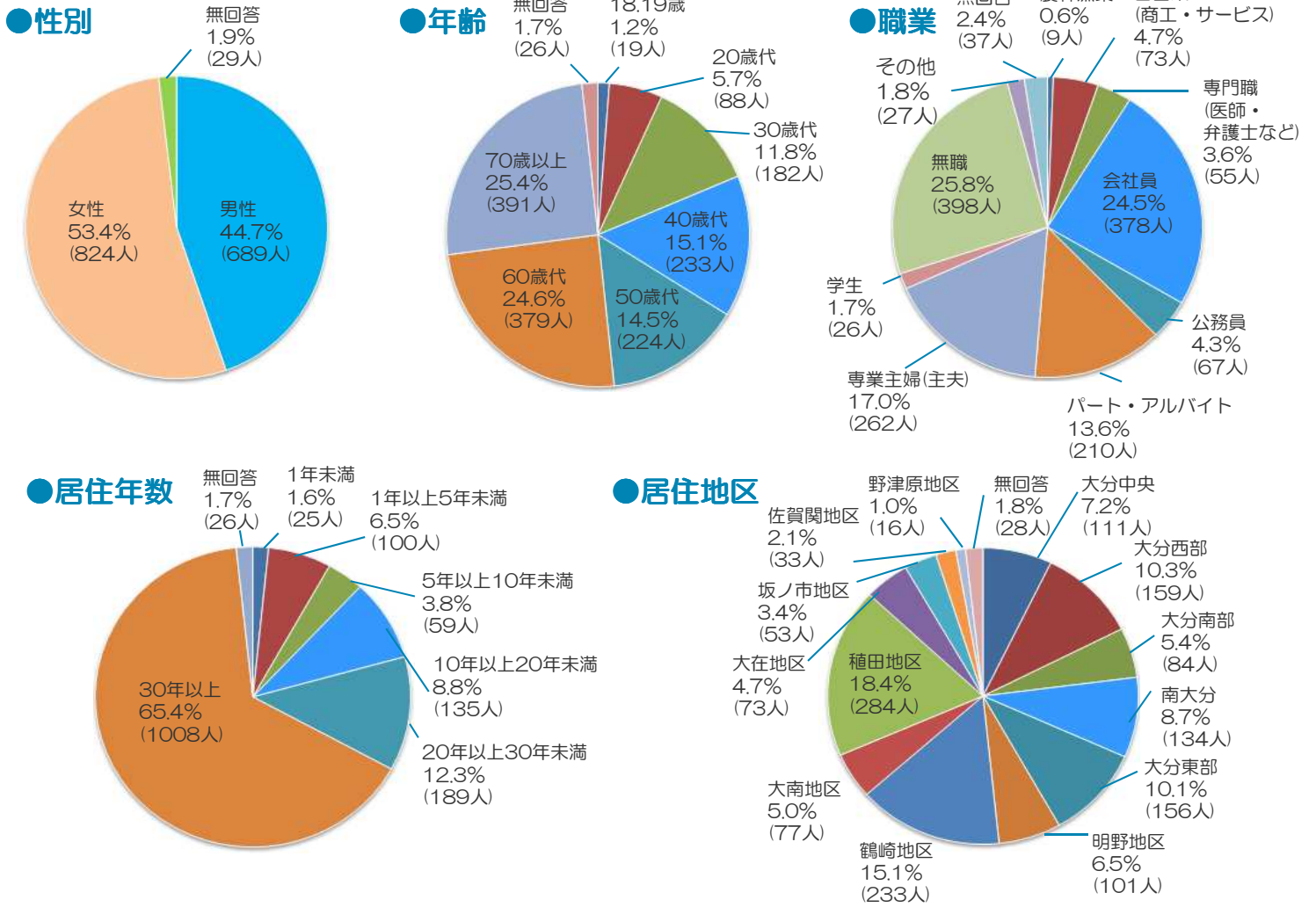
力を入れて取り組んでもらいたい政策

大分市総合計画「おおいた創造ビジョン2024」に掲げる19の具体的な政策のうち、市民が特に力を入れて取り組んでもらいたいと考えている政策項目は、以下ようになりました。

19の政策項目の中では、「防災力の向上」が昨年6位から4位に上昇し、その他の政策の順位は大きな変動がありませんでした。

順位	政策項目	割合(%)	H28年度結果	
			順位	割合(%)
1位	社会福祉の充実	47.3	1位	44.0
2位	安全・安心な暮らしの確保	46.0	2位	42.4
3位	健康の増進と医療体制の充実	33.9	3位	31.0
4位	防災力の向上	26.1	6位	24.6
5位	安定した生活基盤の形成	24.4	5位	25.0
6位	安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実	24.0	4位	26.0
7位	快適な生活環境の確立	17.1	7位	17.5
8位	豊かな自然の保全と緑の創造	9.4	8位	10.5
9位	健全な消費生活の実現	8.4	9位	7.8
10位	快適な都市構造の形成と機能の充実	8.4	10位	7.8
11位	豊かな人間性の創造	7.5	11位	7.5
12位	地域コミュニティの活性化	7.4	12位	7.2
13位	魅力ある観光の振興	7.4	13位	7.2
14位	スポーツの振興	4.7	14位	6.1
15位	活気ある流通・サービス業の展開	4.5	15位	5.3
16位	人権尊重社会の形成	3.9	16位	4.2
17位	個性豊かな文化・芸術の創造と発信	3.1	17位	3.7
18位	特性を生かした生産業の展開	2.8	18位	3.0
19位	国際化の推進	1.9	19位	2.5

調査対象の構成



調査の概要について

- 調査地域 大分市内全域
- 対象者数 4,000人
- 調査方法 郵送による調査票の配布・回収
- 調査期間 平成29年11月14日～12月15日
- 重要度・満足度調査における平均スコアの計算式
- 調査対象者 大分市内在住の18歳以上の人
- 抽出方法 無作為抽出
- 回収数(率) 1,542件(38.7%)

※重要度平均スコア及び満足度平均スコアは、下記の式によって質問ごとに算出し、小数点第3位を四捨五入した数値です。

・重要度平均スコア =
$$\frac{\{(\text{重要}) \times 5 + (\text{やや重要}) \times 4 + (\text{普通}) \times 3 + (\text{あまり重要でない}) \times 2 + (\text{重要でない}) \times 1\}}{\{\text{回答者総数} - (\text{わからない} + \text{無回答})\}}$$

・満足度平均スコア =
$$\frac{\{(\text{満足}) \times 5 + (\text{やや満足}) \times 4 + (\text{普通}) \times 3 + (\text{やや不満}) \times 2 + (\text{不満}) \times 1\}}{\{\text{回答者総数} - (\text{わからない} + \text{無回答})\}}$$

■発行：平成30年3月

■お問い合わせ：大分市 企画部 企画課 行政改革推進室
 (TEL) 097-537-5718 (FAX) 097-534-6182
 (E-Mail) gyokaku@city.oita.oita.jp